

令和3年度 ネットパトロールの実施状況等について

1 趣旨

インターネット上のいじめや誹謗中傷、犯罪被害から児童生徒を守るため、早期発見・早期対応の観点から、SNSへの不適切な書き込み等について検索、監視等を行う。

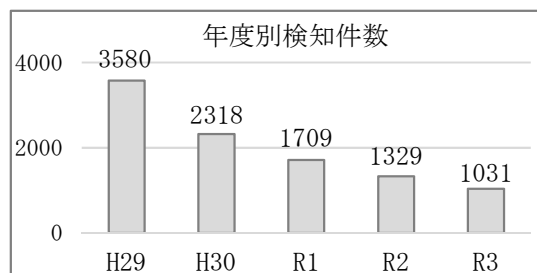
2 対象校

県内全ての公立小・中・高・中等教育・特別支援学校 計612校

3 調査結果

①校種別の検知件数

	対象校数	検知校数	検知件数	%
小学校	380	13	13	1.3
中学校	154	104	460	44.6
高等学校	63	59	556	53.9
特別支援	15	1	2	0.2
合計	612	177	1,031	



②内容別の検知件数

	小学校	中学校	高校	特別支援	合計	
					件数	%
いじめ・中傷	0	11	65	0	76	7.4
不法行為	0	23	26	0	49	4.8
トラブル	0	2	35	0	37	3.6
個人情報の流布	0	315	265	0	580	56.3
その他	13	109	165	2	289	28.0
合計	13	460	556	2	1,031	

◇いじめ・中傷：児童生徒、教職員、親など他人に対する悪口や中傷等

◇不法行為：飲酒、喫煙等の違法行為や著作権侵害の可能性のある画像等の投稿等

◇トラブル：自殺願望、自傷行為や家出・家出受け入れ等

◇その他：学校に関する話題（悪評）、無断アルバイト等の校則違反や不適切な男女交際など、不法ではないが不適切な行為・行動等

4 不適切な事例とその対応

※リスクレベル（ ）はR3年度の件数

「高」・・ 犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事案で緊急性の高いもの（0件）

「中」・・ 緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましいもの（97件）

「低」・・ 緊急性はないが、必要に応じて適切な指導対応が望ましいもの（934件）

<いじめ・中傷の事例>（低レベル）

（事例） ・ ツイッターへ「いやほんまにきしょすぎて引くよ爆笑」と投稿（高校生）

・ ツイッターで友だちにからかわれ、「ふざけんな、しね」と投稿（中学生）

（対応） 投稿した生徒の在籍校に情報提供を行い、投稿者を特定した場合は、当該生徒から事情を確認し指導、特定できない場合は全体への指導を行った。

<不法行為の事例> (中レベル)

(事例) インスタグラムへ放映中のテレビ画面を撮影した画像を投稿し、テレビ会社の著作権侵害の可能性のあるもの。(中学生)

(対応) 投稿した生徒の在籍校に情報提供を行い、当該校で投稿者を特定の上指導し、投稿を削除した。

<トラブルの事例> (中レベル)

(事例) ツイッターへ「生きる価値が見出せないですね。割と死んでもいい気がします。」と投稿したもの。(高校生)

(対応) 投稿した生徒の在籍校に情報提供を行ったところ、以前から学校でも気になる生徒として把握しており、引き続き、見守りや声かけ、教育相談を行い対応している。

<その他の事例> (低レベル)

(事例) 「選びたい人以外はお勧めしません。文武両道はできない、断言します。」や、「楽しいが国立大学は期待できない学校」など、学校の印象に影響するような投稿。(高校生)

5 情報モラルの向上に向けた取組状況

- ・ 情報モラルに関する教員研修を実施するとともに、校内で指導の中核となる教育の情報化推進リーダー等を活用し、系統的に情報モラル教育を推進している。
- ・ 校内研修のプレゼン用資料を各学校に配付し、学校において、個別事案への対処法も含めた児童生徒に対する指導を実施している。
- ・ ネットの適正な利用等について、スマホサミットを実施し、児童生徒の主体的な取組を推進するとともに、その取組を全県に普及することで、各校における生徒会等を主体とした取組を支援している。
- ・ P T A研修や就学前研修会等で、家庭のルールづくりに関する参加型ワークショップを実施している。
- ・ リーフ「スマホ購入 虎の巻!!」や、事業者別にペアレンタルコントロールの設定方法を解説した啓発動画及び、チラシ「わが家のスマホアクション」等を新入生説明会や保護者面談で保護者に直接配付・説明し、啓発や注意喚起の取組を進めている。